

未来



郵政産業ユニオン
PIWU
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4225
22年2月8日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

春闘アンケート集約結果

おはようございます。
郵政ユニオンは、毎年
秋季に、翌年の春闘要求
の元になる「春闘アンケ
ート」を行っています。
長中局でも組合員だけ
でなく、多くの他労組、
未組織の社員にも春闘ア
ンケートにご協力頂きま
した。ご協力ありがとうございました。
ございました。

集約結果からは厳しい
職場環境が浮き彫りにな
っています。本部発行の
郵政ユニオン機関紙に、
集約結果が掲載されてい
るので一部抜粋して紹介
します（なお地下ユニオ
ン掲示板に新聞を掲載し
ています）。

分析結果

（非正規社員編）

進まない正社員登用
2015年には29.
4%だった勤続10年以

上の割合は52.3%に
増加しました。アソシエ
イト社員の割合も、昨年
の62.1%から75.
1%になるなど大幅に増
えています。

このことは会社の収入
が主な生活費になってい
る人の割合が多く、非正
規社員がアソシエイト社
員になって雇用の安定を
図りながら、生活をなん
とか維持していることが
読み取れます。



収入が増えず生活

苦が増す

生活実感は「かなり苦
しい」「やや苦しい」が6
4.7%となり昨年の6
2.9%よりも増加して
います。

年間収入が「減った」
と答えた比率は昨年の1
9.5%から20.9%
に増加し、変わらないと
合わせると85.0%に
なります。格差社会の中
で一番しわ寄せがいく低
賃金労働者の生活が一層
厳しさを増しています。

7年連続で要員不足

職場への不満、不安で
は「要員不足」が7年連
続1位となり、「賃金が安
い」が2位と、昨年と同
じ傾向です。

3位以下は「人間関係」
「正社員との格差」「仕事
がなくなる」「スキル評価
制度」となっていて、正
社員との格差や人間関係
に悩みつつも低賃金で働
かされている非正規社員
の労働実態が明らかにな
りました。



分析結果

（正社員編）

苦しさ増す生活実態

「かなり苦しい」「やや苦
しい」が62.1%で昨
年の60.8%から大き
く上昇しています。

6年連続ベアゼロに加
え、医療費や社会保険料、
生活必需品の相次ぐ値上
げなどにより、社員の生

活が圧迫されていること
が窺えます。

収入の変化では「減っ
た」が全体で31.3%
に上っています。一昨年
が25.4%、昨年が3
1.5%となっており、
コストコントロールなど
により、超勤が減ったこ
とが社員の生活を直撃し
ていると言えます。

改善されない職場

職場生活でのストレス
や健康不安を「強く感じ
る」「やや感じる」人は合
わせて83.4%で昨年
は82.4%、一昨年は
85%を占めるなど依然
として8割を超える人が
ストレスと健康面での不
安を抱えて仕事をしてい
ることになります。郵政
ユニオンへの労働相談で
も、上司からのパワハラ、
いじめなど相談内容の9
割がハラスメントに関す
る事となっています。

不満のトップは

要員不足

今の職場への不満、不
安に感じる事は非正規社
員同様に1位が「要員不
足」2位が「賃金が安い」

となっています。3位の
「職場の将来」に関して
は「JPビジョン202
5」で3万5000人の
減員が示され、正社員の
処遇引き下げや職場がど
うなるのかわからないと
いった不安が広がってい
ます。

この他、春闘アンケ
ート用紙の裏面には今年も
たくさんの意見が寄せら
れました。
土曜休配の問題やDc
at、ドライブレコーダ
ーが監視目的になってい
る等、ご記入頂いた文章
の長さからもその切実さ
が窺えました。



郵政ユニオンは2月4
日、5日に第10回中央
委員会を開催し、春闘方
針が決定しました。制度
改悪を許さず、基本賃金
の大幅引き上げ、要員不
足の解消など、社員が安
心して働ける職場環境を
作るために22春闘をた
たかいます。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。

ゆめを、均等待遇、なげんご差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！